



さっぽろラウンドウォーク

オープン記念

シンポジウム&ウォーク

シンポジウム

2023年6月4日（日）
10:30～12:00
北海道大学学術交流会館
札幌市北区北8条西5丁目

定員 100名
[要申込・先着順]
参加費 無料

札幌市街地一周140kmを歩く『さっぽろラウンドウォーク（SRW）』が今年正式オープンします！
3つのエリア、10のセクションからなるSRWは歩く文化創出の札幌での第一歩になることでしょう！
当日はSRWの概要とこれまでの軌跡、街歩き、フットパス、トレイルといった『歩く』活動に従事してきたお三方によるパネルディスカッションが開催されます。当日のプログラムや登壇者は裏面をご覧ください。

ウォークイベント

都市部の周回のみならず内部も歩けるルートは日本でも初めて！午後からはSRWのモニターウォークでも人気だったセクション10の短縮コースを歩きます。札幌のグリーンエリアとしても知られる南区真駒内や常盤のエリアです。保健保安林の中で見られる自然はもちろん、旧定山溪鉄道跡などの歴史、石山緑地や札幌軟石などの文化や芸術にも触れられます。登山とは異なり、一定の体力があれば誰でも参加できるのがSRWの魅力のひとつです！

2023年6月4日（日）
14:00～16:00

さっぽろラウンドウォーク セクション10

集合 真駒内駅前時計塔下
定員 30名
[要申込・先着順]
参加費 無料
距離 約7.7km

シンポジウムプログラム

10:30～11:00

『さっぽろラウンドウォーク』の概要とこれまでの軌跡

木村 宏 [北海道大学観光学高等研究センター教授／NPO法人 信越トレイルクラブ代表理事
NPO法人 ウォークラボ札幌理事]



1961年東京生まれ。リゾート開発、ホテル経営会社の勤務を経て、日本型DMOの先駆け「信州いいやま観光局」の運営を実践。日本のロングトレイルの普及活動にも従事し、「信越トレイル」「みちのく潮風トレイル」の整備・事業化にも参画。NPO法人日本ロングトレイル協会 常務理事。2016年より北大に赴任、地域づくり、観光地経営、ロングトレイルに関する調査、研究にあたる。

11:00～12:00

『歩く観光の可能性について』 モデレーター奥田萌（NPO法人 ウォークラボ札幌理事） 【パネリスト】

和田 哲 [ブラサトル／街歩き研究家]



1972年札幌市生まれ。市電沿線で電車を毎日見ながら育つ。札幌旭丘高校、日本大学法学部卒業後、広告代理店や地元情報誌「O.tone」編集者を経て独立。古地図や古写真、道路のずれから札幌の歴史をひもとき、雑誌連載やYouTube、講演活動などで発信している。2015年にNHK「ブラタモリ」札幌編で2人目の案内人を務め、現在はHBC「今日ドキッ!」の月1回コーナー「ほっかいどう歴史散歩」やHBCラジオ「朝刊さくらい」（毎週金曜日）などに出演中。著書は「古地図と歩く札幌圏」シリーズ（あるた出版／2020年～）。

小川 巖 [フットパスの第一人者／エコ・ネットワーク代表]



1945年北海道・松前町生まれ。横須賀市で少年時代を送る。1992年から身近な自然を生かした地域づくりや自然を楽しむプログラム開発と普及に当たる環境市民団体「エコ・ネットワーク」の代表で北海道の自然環境分野やフットパス（歩く道）の第一人者として各種委員の外、様々な団体・グループからの依頼に応じるとともに、国内各地で講演活動やフットパスウォーク等を実施している。フットパス関連書籍「フットパスに魅せられて」「歩くを楽しむフットパス」の他、自然関係の著書も多数。フットパス・ネットワーク北海道（FNH）事務局長。

SRWの公式マップも出来ました！

お申込みの際にご連絡いただければ当日会場にてお渡しいたします。

☆山手エリア ☆田園エリア① ☆田園エリア② ☆里山エリア

の3エリア4種類のマップとなります。



各1,320円（税込）
A0判 全4種類
両面カラー

▶お申込みは5月28日（日）までに右のQRコードからお願いいたします。

▶ウォークラボ札幌ではラウンドウォークを歩く調査イベントを実施します。

参加ご希望の方はウォークラボ札幌ホームページからお申し込み願います。



主催：北海道大学観光学高等研究センター

お問合せはNPO法人 ウォークラボ札幌 担当：原 大介
TEL：090-1642-9336 E-mail：starfruits0215D@gmail.com
ウォークラボ札幌ホームページ：https://sapporo-rw.com/